

★水痘（みずぼうそう）予防接種の前に必ず読みましょう

水痘（みずぼうそう）

水痘は水痘・带状疱疹ウィルスの直接感染、飛沫感染あるいは空気感染によって感染します。潜伏期は、通常13～17日です。特徴的な発疹が主症状で痒みを伴います。発疹は最初は斑点状丘疹、その後3～4日は水疱で、最後は顆粒状の痂皮を残し、間もなく痂皮は脱落して治癒します。発疹は身体の被覆部分に多い傾向がありますが、頭髪部にも現れます。また、軽度の発熱を伴うこともあります。

乾燥弱毒生水痘ワクチン

水痘・带状疱疹ウィルスを弱毒化してつくった生ワクチンです。このワクチンをうけた者のうち、約20%は、後に水痘（みずぼうそう）にかかることがあります。もしかかって軽くすむとされています。

健康小児、成人では副作用はほとんど認められませんが、時に発熱、発疹が見られ、まれに局所の発赤、腫れ、硬結がみられます。

MRワクチン（麻しん風しん混合ワクチン）接種後、4週間を過ぎたら、早い時期にワクチンを受けることをお勧めします。

<水痘予防接種の受け方>

接種対象年（月） 齢	接種回数	標準的な接種間隔
生後12月から生後36月に至るまでの間	1回目	生後12月から生後15月に達するまでの期間
	2回目	1回目終了後3月以上、標準的には6月から12月までの間隔をおいて行う

※平成26年10月1日現在、国から示された方法によるものです

接種後の注意事項

- (1) 接種後30分間は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。
- (2) 接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は速やかに医師の診察を受けてください。
- (3) 接種後4週間は体調に注意しましょう。また、接種後、腫れが目立つときや機嫌が悪くなったときなどは医師にご相談ください。
- (4) このワクチンの接種後、違う種類のワクチンを接種する場合には、27日間以上の間隔をあける必要があります
- (5) 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は問題ありませんが、接種部位をこすめることはやめましょう。
- (6) 接種後当日は激しい運動はさけてください。その他はいつも通りの生活で結構です。